

Title	学会発表
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	2000
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.45 (2000.) ,p.52- 72
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000045-0052

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学 会 発 表

国内学会

稲見圭子, 望月正隆. 発がん性アミノフルオレン類の酸化による新規代謝経路の解明. 日本癌学会第 59 回総会 横浜, p1, 2000

渡邊直子, 大河内江里子, 島田義也, 柳原五吉, 高橋 智, 望月正隆, 長尾美奈子, 杉村 隆, 牛島俊和. PhIP により誘発したラット乳がんにおける一塩基不安定性の存在. 日本癌学会第 59 回総会 横浜, p1, 2000

渡邊直子, 大河内江里子, 望月正隆, 杉村 隆, 牛島俊和. PhIP により誘発されたラット乳癌細胞株での hprt 遺伝子点突然変異率の増加. 日本環境変異原学会第 29 回大会 仙台, 要旨集 p73, 2000

石川さと子, 望月正隆. 制がん性を期待したクロロプロピルニトロサミンから生じる DNA 付加体の解析. 日本環境変異原学会 第 29 回大会 仙台, 要旨集 p122, 2000

滝川 靖, 増野匡彦, 斎藤直美, 真木敦子, 望月正隆. Xanthine oxidase 阻害活性を有する抗酸化剤の開発. 第 22 回核磁気共鳴医学会 第 4 回日本フリーラジカル学会合同学会 東京, p41, 2000

薄井典子, 増野匡彦, 望月正隆. フラーレン誘導体, C₆₀-bis(N,N-dimethylpyrrolidinium iodide)の呼吸鎖への影響. 日本薬学会関東支部大会第 44 回大会 千葉, p47, 2000

三浦基文, 稲見圭子, 増野匡彦, 望月正隆. N-ニトロソメチルアルキルアミンの活性酸素種処理による直接変異原の生成. 日本薬学会関東支部大会第 44 回大会 千葉, p47, 2000

薄井典子, 増野匡彦, 望月正隆. C₆₀-ピロリジン誘導体による呼吸鎖への影響. 第 20 回フラーレン総合シンポジウム 岡崎, p86, 2001

三浦基文, 稲見圭子, 山澤千紘, 山口健太郎, 増野匡彦, 望月正隆. *N*-ニトロソジアルキルアミンと活性酸素発生系から生成する新規変異原性物質. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p91, 2001

望月美紀子, 横川百合, 石川さと子, 増野匡彦, 望月正隆. 二官能基性 proflavine 誘導体の DNA クロスリンク活性におけるアルキル側鎖の影響. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p91, 2001

稲見圭子, 杉田弥生, 望月正隆. シトクロム P450 化学モデル系による発がん物質の活性化. 日本薬学会 第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p92, 2001

飯塚優子, 稲見圭子, 望月正隆. 電子求引基を有する新規ビタミン E 類縁体の合成と抗酸化活性. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p92, 2001

東 利則, 稲見圭子, 望月正隆. 新規ハロメチル置換二環性クロスリンク剤の合成と活性. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p92, 2001

滝川 靖, 本橋利華, 増野匡彦, 望月正隆. Ascorbic acid 類縁体, reductive acid をリードとする xanthine oxidase 阻害薬. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p5, 2001

奥田健介, 安部田千穂, 廣田 喬, 長野哲雄, 廣部雅昭, 望月正隆, 増野匡彦. 活性酸素消去剤を指向したポルフィリン- C_{60} 誘導体の合成. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p23, 2001

薄井典子, 米田絵美子, 奥田健介, 廣田 喬, 長野哲雄, 廣部雅昭, 望月正隆, 増野匡彦. C_{60} -ピロリジン誘導体による電子伝達系阻害. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p25, 2001

石川さと子, 望月正隆. 制がん性を期待したクロロアルキルニトロサミンによる DNA 損傷機構. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p29, 2001

廉田牧子, 角田 正, 井村知弘, 山内仁史, **横山祥子**, 酒井秀樹, 阿部正彦. 高分子水溶液におけるリポソームの物理化学的研究. 2000 年度色材研究発表会 東京, 講演要旨集 p6, 2000

貝瀬千尋, 酒井秀樹, **横山祥子**, 阿部正彦. 海洋深層水ベシクルの形成とその挙動. 2000 年度色材研究発表会 東京, 講演要旨集 p7, 2000

幸内淳一, 田保橋 建, 飛田和彦, 坂本一民, **横山祥子**, 春澤文則, 酒井秀樹, 阿部正彦. 新規アミノ酸系界面活性剤の乳化特性. 2000 年度色材研究発表会 東京, 講演要旨集 p14, 2000

角田 正, 井村知弘, 山内仁史, **横山祥子**, 酒井秀樹, 阿部正彦. リポソームの膜物性に及ぼすタンパク質の吸着. 2000 年度色材研究発表会 東京, 講演要旨集 p18, 2000

横山祥子. 脂肪酸を用いた薬物の安定化と DDS への応用. 2000 年度材料技術研究協会討論会 千葉, 講演要旨集 p23-24, 2000

幸内淳一, 田保橋 建, 飛田和彦, 坂本一民, **横山祥子**, 春澤文則, 酒井秀樹, 阿部正彦. 新規アミノ酸系界面活性剤の溶液物性および乳化特性. 2000 年度材料技術研究討論会 千葉, 講演要旨集 p75-76, 2000

井村知弘, 貝瀬千尋, **横山祥子**, 酒井秀樹, 阿部正彦. Freeze Fracture Electron Microscopy による Ceramide 3/DPPC 混合リポソームの直接観察. 2000 年度材料技術研究討論会 千葉, 講演要旨集 p79-80, 2000

角田 正, 井村知弘, 山崎忠男, **横山祥子**, 酒井秀樹, 阿部正彦. DPPC リポソームの膜物性に及ぼすタンパク質吸着の影響. 2000 年度材料技術研究討論会 千葉, 講演要旨集 p81-82, 2000

羽田紀康, 有村奈々絵, 竹田忠紘. 無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (8) マンソン裂頭条虫 *Spirometra erinacei* 由来の糖脂質 (2). 第 21 回日本糖質学会年会 名古屋, 要旨集 p90, 2000

佐藤孝治, 羽田紀康, 大月玲子, 竹田忠紘. 無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (9) フトミミズ *Pheretima hilgendorfi* 由来の糖脂質 (3). 第 21 回日本糖質学会年会 名古屋, 要旨集 p91, 2000

大塚 功, 羽田紀康, 小林礼奈, 竹田忠紘, 杉田陸海. 無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (10) 節足動物由来 arthro 系列の糖脂質 (2). 第 21 回日本糖質学会年会 名古屋, 要旨集 p91, 2000

青木一弘, 羽田紀康, 糸 乗前, 竹田忠紘, 杉田陸海. ミドリシャミセンガイにおける 3-O-メチルマンノースを含有する Mollu 系中性糖脂質. 第 21 回日本糖質学会年会 名古屋, 要旨集 p95, 2000

黄 静, 荻原幸夫, 張 浩, 清水訓子, 竹田忠紘. 四川省産薬用植物 *Ardisia mamillata* Hance の成分研究 (3). 日本生薬学会第 47 年会 東京, 講演要旨集 p176, 2000

成川佑次, 清水訓子, 竹田忠紘, 下遠野久美子. シソ科 *Plectranthus* の成分研究. 日本生薬学会第 47 年会 東京, p192, 2000

成川佑次, 山中悠記子, 清水訓子, 竹田忠紘. アフリカ産薬用植物 *Leonotis nepetaefolia* の成分研究 (3). 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p110, 2001

荒井裕美子, 永井隆之, 竹田忠紘, 山田陽城. 気管支喘息モデルマウスにおける肺 NGF 産生に対する小青竜湯の影響. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p103, 2001

羽田紀康, 齊藤大次郎, 竹田忠紘. 無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (11) 日本海裂頭条虫 *Diphyllobothrium nihonkaiense* 由来の糖脂質. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p130, 2001

佐藤孝治, 羽田紀康, 眞下美紀, 竹田忠紘, 杉田陸海. 無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (12) フトミミズ *Pheretima hilgendorfi* 由来の糖脂質 (4). 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p130, 2001

清水訓子, 木田康則, 竹田忠紘, 柴田承二, 成井孝雄. キウメノキゴケ多糖体の構造研究. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p130, 2001

浅野 孝, 一條知里, 林 恵理子, 田村悦臣, 竹田忠紘. 天然物由来色素化合物によるフェノール硫酸転移酵素の阻害 (2). 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p133, 2001

林 恵理子, 浅野 孝, 一條知里, 田村悦臣, 飯沼宗和, 竹田忠紘. 天然物由来色素化合物によるフェノール硫酸転移酵素の阻害 (3). 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p133, 2001

平野英子, 枝川義邦, 石毛久美子, 伊藤芳久, 清水訓子, 竹田忠紘, 成井孝雄, 柴田承二, 斉藤 洋. 地衣類由来成分 PB-2 は歯状回長期増強の形成を促進する. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p57, 2001

千葉健一, 金澤秀子, 松島美一, 菊池明彦, 岡野光夫. 環境応答性高分子を用いたクロマトグラフィー. Separation Science 2000 東京, 要旨集 p83-84, 2000

津林 茜, 國東祐子, 金澤秀子, 松島美一. 光学活性検出器を用いた HPLC による生体試料中の医薬品の分離定量および固相抽出法の検討. Separation Science 2000 東京, 要旨集 p85-86, 2000

金澤秀子, 綾野絵理, 千葉健一, 松島美一, 望月正隆. 機能性ポリマー修飾リポソームを用いた薬物送達システムの開発. 第 16 回ライフサポート学会大会 徳島, 講演予稿集 p124, 2000

永田佳子, 西尾たまも, 望月正隆, 松島美一. d- α -Tocopherol(α -Toc)および α -Toc 類似体 2,2,5,7,8-pentamethyl-6-chromanol(PMC)と一酸化窒素(NO)の酸素存在下での反応. 第 16 回ライフサポート学会 徳島, 講演予稿集 p125, 2000

千葉健一, 金澤秀子, 松島美一, 菊池明彦, 岡野光夫. 刺激応答性高分子を用いた HPLC 充填剤の開発. 日本分析化学会第 49 年会 岡山, 要旨集 p8, 2000

津林 茜, 金澤秀子, 松島美一, 望月正隆. 光学活性検出器を用いた HPLC による生体試料中のキラル医薬品の分離定量. 日本分析化学会第 49 年会 岡山, 要旨集 p12, 2000

岡田明子, 金澤秀子, 松島美一, 望月正隆, 木津純子. キラルカラムを用いたプロトンポンプインヒビターの光学分割. 日本分析化学会第 49 年会 岡山, 要旨集 p339, 2000

金澤秀子, 國東祐子, 津林 茜, 岡田明子, 松島美一, 望月正隆. 円二色性検出器を用いた HPLC による血中イブプロフェン光学異性体の動態測定. 日本分析化学会第 49 年会 岡山, 要旨集 p343, 2000

綾野絵理, 金澤秀子, 松島美一, 高井信治, 菊池明彦, 岡野光夫. 機能性ポリマーを用いた温度応答性クロマトグラフィーによる核酸の分離. 日本分析化学会第 49 年会 岡山, 要旨集 p348, 2000

綾野絵理, 金澤秀子, 松島美一, 高井信治, 菊池明彦, 岡野光夫. 温度応答性クロマトグラフィーによる核酸の分離. 第 6 回 LC テクノプラザ 東京, 要旨集 p101, 2001

岡田明子, 金澤秀子, 松島美一, 望月正隆, 眞重文子, 大久保滋夫. CYP2C19 の遺伝的多型解析を目的としたプロトンポンプインヒビターの光学分離. 第 6 回 LC テクノプラザ 東京, 要旨集 p102, 2001

津林 茜, 金澤秀子, 松島美一, 望月正隆, 木津純子, 永田佳子, 森ちはる. 光学活性検出器を用いた HPLC による生体試料中の医薬品の分離定量. 第 6 回 LC テクノプラザ 東京, 要旨集 p115-116, 2001

千葉健一, 金澤秀子, 松島美一, 菊池明彦, 岡野光夫. 温度応答性高分子を用いた HPLC 充填剤. 第 6 回 LC テクノプラザ 東京, 要旨集 p117-118, 2001

永田佳子, 金澤秀子, 望月正隆, 松島美一, 松本茂信. α -Tocopherol と NO の酸素存在下での反応における溶媒効果について. 第 12 回ビタミン E 研究会 東京, プラカ・77 ストラク p1, 2001

永田佳子, 柿沼恵美子, 田中優理, 松本茂信, 金澤秀子, 望月正隆, 松島美一. α -Tocopherol と NO の反応 ; 溶媒効果の検討. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p110, 2001

綾野絵理, 金澤秀子, 松島美一, 高井信治, 菊池明彦, 岡野光夫. 温度応答性クロマトグラフィー2 -核酸の分離-. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p120, 2001

金澤秀子, 千葉健一, 松島美一, 菊池明彦, 岡野光夫, 高井信治. 温度応答性クロマトグラフィー1 -温度グラジエントの効果-. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p120, 2001

岡田明子, 金澤秀子, 松島美一, 望月正隆, 木津純子, 眞重文子, 大久保滋夫. CYP2C19 の遺伝的多型解析を目的としたオメプラゾールの光学分離. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p128, 2001

那須こず恵, 高橋恭子, 森崎益雄, 藤本善徳. 植物ステロール側鎖部の生合成機構 : Δ 25(27)体の 24-メチルステロール生合成前駆体としての可能性. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p126, 2001

野村佳子, 藤本善徳, 山田純子, 高橋恭子, 森崎益雄. Ajuga 毛状根におけるステロール側鎖 24 位の脱エチル化反応について. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p126, 2001

高橋恭子, 伊藤崇裕, 篠原聡子, 森崎益雄. トリフェニルエチレン誘導体のコレステロール生合成に及ぼす影響. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p9, 2001

飯島史朗, 芝 紀代子, 山田純子, 望月正隆. 等電点電気泳動法の支持体としてのセルロースアセテート膜の有用性について. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p141, 2001

大原久美子, 森田裕子, 村上 勲, 本間義夫. 金属含有タンパク質の結晶化とその構造解析-1. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集-4 p157, 2001

村上 勲, 森田裕子, 田村友希江, 渡辺綾子, 榎本春佳, 鈴木広子, 本間義夫. ラドンと娘核種による被曝線量の測定. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p157, 2001

森田裕子, 村上 勲, 本間義夫. 空気ルミネッセンス法によるラドン測定器の迅速な較正法. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p159, 2001

森田裕子, 村上 勲, 本間義夫. ガラスバイアル内の β 放射体によるチェレンコフ計数効率. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p159, 2001

渡辺達也, 青木正忠, 岡 美佳子, 竹鼻 眞, 小林静子, 朱宮正剛. 遺伝性白内障ラット (SCR 系) における白内障関連遺伝子の検索. 第 39 回日本白内障学会 東京, 要旨集 p55, 2000

松原優子, 岡 美佳子, 竹鼻 眞, 小林静子. 線維細胞-カプセル間の細胞接着因子. 第 39 回日本白内障学会 東京, 要旨集 p56, 2000

榎本 純, 中村花野子, 竹鼻 眞, 小林静子, 加藤詠子, 続木 敏. 紫外線 B 波による皮膚障害に対するアスコルビン酸と α トコフェロールの協働作用. 第 22 回日本光医学・光生物学会 東海大学, 抄録集 p43, 2000

松原優子, 岡 美佳子, 竹鼻 眞, 小林静子, 朱宮正剛. ラット水晶体線維細胞とカプセル間の接着. 第 73 回日本生化学会大会 横浜, 要旨集 p802, 2000

小林静子, 滝沢里絵子, 桐山 操, 中村花野子, 竹鼻 眞. UVB 照射誘導によるマウス皮膚扁平上皮がんよりクローニングした細胞における p53 の変異とアポトーシス. 第 73 回日本生化学会大会 横浜, 抄録集 p936, 2000

中村花野子, 吉越亜紀, 深井清達, 米山 渚, 岡 美佳子, 竹鼻 眞, 小林静子. スモール熱ショック蛋白質 hsp25 と相互作用するタンパク質の同定. 第 23 回日本分子生物学会年会 神戸, 講演要旨集 p418, 2000

岡 美佳子, 中村花野子, 小林静子, 竹鼻 眞. 水晶体中のタンパク質分解酵素の性質. 第 27 回水晶体研究会 鎌倉, 要旨集 p1, 2001

赤塚一子, 坂東正康, 尾羽澤 大, 岡 美佳子, 竹鼻 眞, 小林静子. 家兎水晶体で見いだしたデヒドロアスコルビン酸欠乏の影響. 第 27 回水晶体研究会 鎌倉, 要旨集 p9, 2001

渡辺達也, 松原優子, 岡 美佳子, 小林静子, 青木正忠, 竹鼻 眞. α B-クリスタリンとレントイドボディ形成との関係. 第 27 回水晶体研究会 鎌倉, 要旨集 p14, 2001

松原優子, 岡 美佳子, 小林静子, 竹鼻 眞. ラット水晶体線維細胞とカプセル間の接着因子. 第 27 回水晶体研究会 鎌倉, 要旨集 p33, 2001

槇本 純, 中村花野子, 竹鼻 眞, 小林静子, 高田二郎, 加留部義晴, 加藤詠子, 続木敏. 紫外線 B 波による皮膚障害に対するアスコルビン酸と α -トコフェロールのプロドラッグの協働効果. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p76, 2001

松浦美和, 岡 美佳子, 坂東正康, 小林静子, 尾羽沢大, 竹鼻 眞. ウサギ水晶体のアスコルビン酸フリーラジカル (AFR) 還元酵素の一次構造解析. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p39, 2001

吉越亜紀, 中村花野子, 竹鼻 眞, 小林静子. 酸化ストレスに対する HSP25 のリン酸化の役割. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p69, 2001

渡辺達也, 松原優子, 岡 美佳子, 小林静子, 青木正忠, 竹鼻 眞. α -B クリスタリンとレントイドボディ形成との関係. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p92, 2001

山本大輔, 長谷川真紀, 横田恵理子, 園田よし子, 笠原 忠. 新規免疫抑制薬物 FTY のヒトグリオーマ培養細胞におけるアポトーシスの誘導. 第 73 回日本生化学会 横浜, 抄録集 p924, 2000

園田よし子、桜井伸也、小口恵美子、浜田洋文、篠浦伸禎、笠原 忠. アデノウイルスによる focal adhesion kinase (FAK)変異遺伝子のグリオーマへの導入は細胞増殖を抑制する. 第 73 回日本生化学会 横浜, 抄録集 p931, 2000

船越めぐみ, 多胡憲治, 園田よし子, 富永真一, 笠原 忠. NF- κ B 活性調節機構における MAP キナーゼの役割. 第 73 回日本生化学会 横浜, 抄録集 p1030, 2000

渡辺秀実, 浜野美紀子, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠, 鈴木和博. 食細胞のコフィリンの活性制御におけるホスホリパーゼ C の役割. 第 73 回日本生化学会 横浜, 抄録集 p1035, 2000

山田裕実, 横田恵理子, 園田よし子, 笠原 忠. 好酸球分化における CCR3 発現とその機序. 第 30 回日本免疫学会総会 仙台, 総会記録 p29, 2000

渡辺秀実, 浜野美紀子, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠, 鈴木和博. 白血球細胞の分化に対する内分泌かく乱物質の影響. 第 30 回日本免疫学会総会 仙台, 総会記録 p77, 2000

多胡憲治, 船越めぐみ, 柳沢 健, 黒岩憲二, 李 紅杰, 早川盛禎, 岩花弘之, 笠原 忠. IL-1 α 依存的な NF- κ B 活性化に対する Genistein の増強効果. 第 30 回日本分子生物学会 神戸, 2000

小田泰子, 笠原 忠, 金子元久. Diethylstilbestrol およびその代謝化合物は HL-60 細胞から活性酸素の産生を増強する. 日本癌学会総会 横浜, 講演要旨集 p271-272, 2000

金子元久, 小田泰子. 機能的なミトコンドリアはチャイニーズハムスターV79 細胞に対する細胞毒性に二面的に関与する. 日本癌学会総会 横浜, 講演要旨集 p272, 2000

小田泰子, 青木夏子, 飯沼知子, 山本真帆, 渡辺香織, 笠原 忠, 金子元久. 合成エストロゲンおよびその代謝物はマクロファージ系細胞株から活性酸素の産生を増強する. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 講演要旨集 3 p13, 2001

越智崇文, 小田泰子. 女性ホルモン及びその誘導体による中心体異常、多極紡錘体誘発の構造-活性関係. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 講演要旨集 4 p73, 2001

下遠野久美子, 石田正成, 千田倫子, 遠藤豊成, 和田牧子, 白幡 晶. *Bacillus brevis* の spermidine 合成酵素について. 日本ポリアミン研究会第 16 回 大津市, p16, 2001

緒方正裕, 新家一男, 浦野四郎, 瀬戸治男, 遠藤豊成. フェノール性化合物とビタミン E のグルタミン酸毒性に対する神経細胞保護作用. 第 12 回ビタミン E 研究会 東京, p11, 2001

緒方正裕, 高津博勝, 大友まさ恵, 浦野四郎, 遠藤豊成. 生薬抽出物および各種お茶の抗酸化活性. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 2 p141, 2001

星 緑, 岡 健太郎, 遠藤豊成. Antibiotic K-41 の変換 (11). 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p30, 2001

下遠野久美子, 簗宮幸久, 遠藤豊成. スペルミジン合成酵素遺伝子の発現機構について. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p51, 2001

国兼貴雄, 八巻 寛, 関 昌子, 緒方正裕, 遠藤豊成. Dipropofol の抗菌活性の作用機序について. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p79, 2001

鈴木岳之, 高儀良一, 川島紘一郎. 中隔-海馬共培養系におけるコリン作動性神経活性に対する GABA 系の関与および高 K⁺処理の影響の検討. 第 23 回日本神経科学大会・第 10 回日本神経回路学会合同大会 横浜, p238 (P-510), 2000

藤井健志, 川島紘一郎. リンパ球におけるムスカリン受容体を介するカルシウム流入に依存した c-fos 遺伝子発現. 第 23 回日本神経科学大会・第 10 回日本神経回路学会 横浜, p331 (P-751), 2000

牛山直樹, 細沼和代, 末永 綾, 藤井健志, 川島紘一郎. ヒト T 細胞系白血病細胞株 CEM における免疫抑制薬 ATG-FS のアセチルコリン(ACh)産生および合成酵素コリンアセチルトランスフェラーゼ(ChAT)遺伝子発現に及ぼす影響の検討. 第 103 回日本薬理学会関東部会 東京, p50 (B-11), 2000

Fujii T, Fujimoto K, Kawashima K. Modulation of gene expression of muscarinic receptors in human mononuclear leukocytes(MNLs) stimulated by Staphylococcus aureus Cowan I Strain(SAC), a B-cell activator. 74th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological society 横浜, p126, Vol.85 Supplement I, 2001

Ushiyama N, Fujii T, Kawashima K. A transient increase of intracellular free calcium ion concentration and up-regulation of $\alpha 7$ nicotinic receptor subunit gene expression by nicotine in CEM, a human leukemic T-cell line. 74th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society 横浜, p127, Vol.85 Supplement I, 2001

Inoue T, Fujii T, Kawashima K. A specific up-regulation of M5 muscarinic acetylcholine receptor (mAChR) subtype gene expression by phytohemagglutinin (PHA), a T-cell activator, in CEM cells, a human leukemic T-cell line. 74th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society 横浜, p127, Vol.85 Supplement I, 2001

Suenaga A, Fujii T, Kawashima K. Reduction of intracellular acetylcholine content and release by ONO-DI-004, a novel EP1 receptor agonist, in MOLT-3 cells, a human leukemic T-cell line. 74th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society 横浜, p127, Vol.85 Supplement I, 2001

Horiuchi Y, Fujii T, Kawashima K. Reduction of acetylcholine release by apelin, a novel immunologically active endogenous peptide, in MOLT-3 cells, a human leukemic T-cell line. 74th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society 横浜, p127, Vol.85 Supplement I, 2001

源田昌美, 飯笹 久, 北野智英, 服部研之, 米山博之, 西原カズヨ, 中島恵美. 潰瘍性大腸炎における多剤耐性遺伝子(mdrla)の発現変化. 第 10 回日本病院薬学会年会 京都, 講演要旨集 p144, 2000

西島妙子, 松永典子, 服部研之, 飯笹 久, 森川明信, 中島恵美. 薬物動態学的代謝酵素量の測定:PKCYP-TEST の CYP2C11 への応用. 第 10 回日本病院薬学会年会 京都, 講演要旨集 p144, 2000

飯笹 久, 大久保泰子, 松島明子, 浅島朋子, 服部研之, 中島恵美. ラットアンジオポイエチンファミリー遺伝子クローニング. 第 121 年会日本薬学会 札幌, 要旨集 3 p86, 2001

北野智英, **飯笹 久**, 服部研之, 上田正次, 帯刀益夫, 渡辺善照, 宇都口直樹, 寺崎哲也, **中島恵美**. ラット合胞体栄養細胞由来条件的不死化細胞株の樹立. 第 121 年会日本薬学会 札幌, 要旨集 3 p86, 2001

浅島朋子, 池上有美, 村川 泉, **飯笹 久**, 服部研之, 寺崎哲也, 上田正次, 帯刀益夫, **中島恵美**. 新規に樹立したラット脳周皮細胞株におけるマーカー遺伝子の発現解析. 第 121 年会日本薬学会 札幌, 要旨集 3 p86, 2001

林 美代子, 松永典子, 西島妙子, 服部研之, **飯笹 久**, 木津純子, **中島恵美**. 薬物代謝能力診断法 (PKCYP-test) によるテオフィリンのクリアランス解析-3-メチルコランスレン投与ラットへの応用. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p147, 2001

松永典子, 金谷奈美, 渡部愛子, 服部研之, **飯笹 久**, 柴崎敏昭, **中島恵美**. 薬物代謝能力診断法 (PKCYP-test) を用いた病態モデルラットにおける CYP1A2 量の測定とカフェインのクリアランスの予測変動. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p147, 2001

信清真千子, 中島由起子, **松永典子**, 林 真理子, 服部研之, **飯笹 久**, **中島恵美**. 生理学的薬物速度論モデルに基づいたイフォスファミドの体内動態解析. 第 121 年会日本薬学会 札幌, 要旨集 3 p147, 2001

田村充恵, 浅井知浩, **服部研之**, **中島恵美**, 奥 直人. 血管内皮前駆細胞の生体内動態の PET 解析. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p36, 2001

高橋剛視, 宇都口直樹, 山本希美, 高良 梓, 藤井まき子, **中島恵美**, 渡辺善照. BeWo 細胞を用いた胎盤関門におけるアスコルビン酸特殊輸送機構の検討. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p80, 2001

北野智英, 飯笹 久, 中島恵美. 細胞株によるラット血液胎盤関門機能の解析. 日本薬学会第 16 年会 東京, 講演要旨集 p133, 2001

飯笹 久, 中島恵美. 関門構造とサイトカイン-ラット Angiopoietin family gene のクローニング. 日本薬学会第 16 年会 東京, 講演要旨集 p134, 2001

立川正憲, 大槻純男, 高長ひとみ, 細谷健一, 飯笹 久, 中島恵美, 寺崎哲也. 血液脳関門を構成する脳毛細血管内皮細胞, アストロサイト, ペリサイトにおけるクレアチン輸送担体(CRT)の発現と機能. 第 73 回日本生化学会 横浜, 抄録集 p1027, 2000

木本哲也, 太田陽一郎, 釣木澤朋和, 牧野純也, 北條泰嗣, 田村悦臣, 川戸 佳. 海馬における神経ステロイドの合成機構. 第 10 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム 東京, 2000

田村悦臣. ラット脳ヒドロキスステロイド硫酸転移酵素の解析. CREST「ニューロステロイド」研究会 東京, 2000

永井総子, 田村悦臣. ヒト血球系培養細胞における CYP3A の発現について. 第 73 回日本生化学会大会 横浜, p975, 2000

木本哲也, 太田陽一郎, 釣木澤朋和, 牧野純也, 北條泰嗣, 田村悦臣, 川戸佳. 海馬における神経ステロイドの合成機構. 第 73 回日本生化学会 横浜, p1014, 2000

永井総子, 田村悦臣. ヒト血球系培養細胞のシトクロム P450 および硫酸転移酵素の発現について. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p46, 2001

田中弘之, 平山育子, 松原優子, 田村悦臣, 竹鼻 眞, 小林静子. ラット眼球における薬物代謝酵素の局在と性質. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p49, 2001

磯崎貴代, 田村悦臣. Caco-2 細胞の硫酸抱合活性に対する緑茶成分の阻害効果. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p52, 2001

吉山友二, 新井美幸, 山崎綾子, 矢崎知子, 菅家甫子. ホスホマイシン併用によるテイコプラニンの腎毒性軽減効果. 第 48 回日本化学療法学会総会 岡山, p111, 2000

西野真紀, 吉山友二, 関 和恵, 林 清美, 山崎綾子, 矢崎知子, 菅家甫子, Philip D. Hansten. 薬物相互作用ハンドブックの活用と評価—薬物相互作用と患者マネジメント. 第 8 回クリニカルファーマシーシンポジウム 仙台, p271, 2000

平野 靖, 吉山友二, 甲斐麻紀, 三澤雅子, 清水絹代, 矢崎知子, 菅家甫子, 大神宏治. マルチメディアを活用した臨床薬剤師養成に係わる研究—医薬情報データベースの活用と評価. 第 8 回クリニカルファーマシーシンポジウム 仙台, p272, 2000

吉山友二, 西野真紀, 矢崎知子, 菅家甫子. ネブライザー療法における塩酸セフメノキシムの薬剤安定性. 第 24 回日本医用エアロゾル研究会 東京, p7, 2000

吉山友二, 矢崎知子, 菅家甫子, 野川聖子, 堀 里子, 山田安彦, 伊賀立二, 戸邊一之, 門脇 孝. UV 検出 HPLC によるブホルミン血中濃度測定法に関する検討. 第 21 回日本臨床薬理学会年会 札幌, p111, 2000

目谷篤子, 黒川 寛, 柴崎敏昭, 菅家甫子. インスリン非依存性糖尿病患者における動脈硬化の指標の検討—apoB/LDL-c 比の有用性について. 第 10 回日本病院薬学会年会 京都, p243, 2000

大久保紀子, 大川 清, 朝倉 正, 柴崎敏昭. 腎細胞癌における抗悪性細胞腫瘍剤感受性と GST- π . 第 59 回日本癌学会 横浜, 要旨集 p587-588, 2000

秦 聡美, 菅家甫子, 上原千穂, 柴崎敏昭, 佐藤千景, 黒瀬光一, 頭金正博. ヒト末梢血液中の CYP 分子種の定量と薬物代謝能の評価. 第 121 回日本薬学会 札幌市, 要旨集 3 p171, 2001

繁富 節, 富井桃子, 上原千穂, 柴崎敏昭. Statin 剤の糸球体疾患の病態に与える影響. 第 13 回腎と脂質研究会 東京, 抄録集 p22, 2001

上原千穂、繁富 節、近藤和雄、大野岩男、細谷龍男、柴崎敏昭. 難治性原発性ネフローゼ症候群における血清脂質値ならびに尿タンパク排泄量へのフルバスタチンの効果. 成医会 東京, p12, 2000

阿久津祥子, 加賀保子, 小森万希子, 柴崎敏昭, 菅家甫子. 抗血小板薬チクロピジンの投与設計の検討. 第 10 回日本病院薬学会年会 京都, p244, 2000

荒川基記, 木津純子, 村岡宏江, 小林寅, 峯 徹哉. Helicobacter pylori 除菌療法における至適除菌期間の検討. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 3 p136, 2001

関根佑子, 荒川義弘, 木津純子, 堤 治, 西井 修, 小野澤明子, 久高法子, 黒沢良子. 婦人科領域における腹腔鏡下手術前処置としての腸管洗浄法の比較検討. 第 10 回日本病院薬学会年会 京都, 2000

宮崎美子, 八木和子, 吉田日登美, 木津純子. 脳血管障害を有する高齢患者における嚥下障害と服用薬剤関連性についての検討. 第 6 回日本薬剤疫学会学術総会 東京, 講演要旨集 p74-75, 2000

木津純子, 岩川こずゑ, 山本健二. 抗生物質適正使用の推進と MRSA 分離患者の変遷. 第 6 回日本薬剤疫学会学術総会 東京, 講演要旨集 p88-89, 2000

木津純子, 関根佑子, 和田とも子, 森山 暦, 飯島宣呼, 秋山優子, 久高法子, 高井 泰, 西井 修, 堤 治. クリティカルパスへの Evidence-Based Medicine の導入. 第 1 回日本クリニカルパス学会総会 東京, 2000

齋藤和美, 西村郁子, 久 法子, 小野澤明子, 新井晴代, 関根佑子, 木津純子, 高井 泰, 西井 修, 堤 治. 医療チームで取り組んだ腹腔鏡下卵巣嚢腫核出術のクリティカルパスへ作成. 第 1 回日本クリニカルパス学会総会 東京, 2000

西井 修, 高井 泰, 関根佑子, 木津純子, 堤 治. 婦人科領域におけるクリニカルパスの導入. 第 13 回日本内視鏡外科学会 大阪, 講演要旨集 p191, 2000

宮崎智雄, 関根祐子, 遠藤睦, 後藤一美, 阿部猛, 川名賢一郎, 塩川 満, 井上忠夫, 阿部和史, 阿部宏子, 加藤真由美, **木津純子**, 小林恵美子, 瀬川真由子, 宮崎美子. 院内 POS 症例検討および POS 薬剤研究会によるオーディット表を用いた症例検討の有用性. 第 23 回日本 POS 医療学会大会 神戸, 講演要旨集 p30, 2001

阿部 猛, 阿部和史, 阿部宏子, 加藤真由美, 川名賢一郎, **木津純子**, 後藤一美, 小林恵美子, 瀬川真由子, 宮崎智雄, 宮崎美子, 井上忠夫. 薬剤師による POS の普及とその実践的トレーニングの検討—POS 薬剤研究会活動報告と参加者の意識調査—. 第 23 回日本 POS 医療学会大会 神戸, 講演要旨集 p29, 2001

森 ちはる, **木津純子**. 臨床の現場で活躍できる薬剤師の育成を目指した大学附属薬局の開設. 第 16 回ライフサポート学会大会 徳島, 講演要旨集 p38, 2000

北村繁幸, 吉村友彦, 神原幸子, 神野敬将, **阿部芳廣**, 太田茂. ラット *in vivo* におけるブロムワレリル尿素のキラル選択的代謝. 日本薬物動態学会年会 福岡, 薬物動態 S116-117, 2000

阿部芳廣, 李 林香, 工藤梨沙, 宮田直樹. Fe(II)によるテレフタル酸の水酸化反応について: 2-水酸化体の HPLC による蛍光検出. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p127, 2001

菅田節朗. 表計算ソフトによる薬物速度論のシミュレーション. 化学ソフトウェア学会年会 2000 研究討論会 つくば, 講演要旨集 p48-49, 2000

埴岡伸光, 渡部佳世子, 神野透人, 香川(田中)聡子, 西村哲治, **与田玲子**, 安藤正典. ラット肝 P450 に対するアラクロールの影響. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 4 p183, 2001

福島紀子, **松本佳代子**, 那須由起子, 大谷佐和子, 庄内智子, 真根井恭子, 吉田真紀子. ドリンク剤の規制緩和による問題点. 日本社会薬学会第 19 年会 船橋, p152-153, 2000

坂井尚子, 福島紀子, 松本佳代子. 外来患者の QOL に及ぼす薬に関する問題の影響について. 日本社会薬学会第 19 年会 船橋, p120-121, 2000

松本佳代子, 新井進一, 勝瑞京子, 朴 理恵, 毛利隆宏, 高橋紀子, 福島紀子. 薬局における情報環境. 日本社会薬学会第 19 年会 船橋, p86-87, 2000

松本佳代子, 江口志乃美, 柴尾有香, 小川裕美子, 坂巻景子, 加藤洋介, 石 井将典, 飯田 誠, 斎藤匡巳, 福島紀子. 避妊に関する横断研究. 日本薬学会第 121 年会 札幌, 要旨集 p196, 2001

国際学会

Mashino T, Usui N, Okuda K, Hirota T, Hirobe M, Mochizuki M. Inhibition of *E. coli* growth by fullerene derivatives and the inhibition mechanism; respiratory chain inhibition. 120th Electrochemical Society Meeting Toronto, Canada, Abstract p698, 2000

Mashino T, Takigawa Y, Saito N, Mochizuki M. Antioxidant activity and xanthine oxidase inhibition activity of reductic acid; ascorbic acid skeleton analog. 10th Biennial Meeting of the Society for Free Radical Research International Kyoto, Abstract p158, 2000

Imura T, Sakai H, Yamauchi H, **Yokoyama S**, Abe M. Preparation of liposomes containing ceramide 3 and their membrane characteristics. JOCS/AOCS World Congress 2000 Kyoto, Japan. Abstract, p128, 2000

Kaise C, Sakai H, **Yokoyama S**, Abe M. Solubilization of aromatic compounds in vesicles and/or liposomes in deep sea water. JOCS/AOCS World Congress 2000 Kyoto, Japan. Abstract, p330, 2000

Imura T, Sakai H, Yamauchi H, **Yokoyama S**, Abe M. Atomic force microscopic study on the surface properties of phospholipid monolayers containing ceramide 3. International Conference on Colloid and Surface Science Tokyo, Japan. Abstract, p368, 2000

Sakai N, Hiratsuka N, Kurihara Y, **Iijima S, Shibasaki T**, Shiba K, Hosaki S. Relationship between urinary protein levels and diabetic retinopathy. - Is determination of urinary proteins useful for prediction of diabetic retinopathy? -. 6th Asian conference of clinical pathology Pusan Korea, S137, 2000

Kasahara T, Funakoshi M, Sonoda Y, Tago K, Tominaga T. Involvement of PI3-kinase in the IL-1 and TRAF-6-induced NF- κ B activation. 3rd Joint Meeting of ICS/ISICR Amsterdam, Netherland, Eur Cytok Netw 11:70, 2000

Sonoda Y, Matsumoto Y, Funakoshi M, Yamamoto D, Hanks SK, Kasahara T. Anti-apoptotic role of focal adhesion kinase (FAK): induction of inhibitor -of-proteins and apoptosis suppression by the overexpression of FAK in a human leukemic cell line, HL-60. 18th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology Birmingham, UK p53. 2000

Sonoda Y, Yamamoto D, Makuta Y, Funakoshi M, Aizu-Yokota E, Kasahara T. Induction of costimulatory molecules (CD1a, CD86) and CCR5 by the overexpression of FAK in a human leukemic cell line, HL60. Ixth International Symposium on the Molecular Cell Biology of Macrophages, Japan p106, 2000

Shimotohno KW, Hiraishi Y, Miura Y, Miwa I, Endo T. Molecular Cloning and Nucleotide Sequence of the Edeine B₁ Amidinohydrolase Gene of *Bacillus brevis* TT02-8 and its Expression in *Escherichia coli*. Bacillus 2000 : Application and Systematics of Bacillus and Relatives, Bruges, Belgium p12, 2000

Fujii T, Kawashima K. Calcium signaling and up-regulation of c-fos gene expression via M₃ subtype of muscarinic acetylcholine receptor in human T-cell and B-cell lines. 30th Annual Meeting Society for Neuroscience, New Orleans, Luisiana, USA, Abstract 26 p1644 (616.6), 2000

Fujii T, Sato K, Ando T, Kawashima K. Nicotine induces intracellular calcium signaling in T- and B-lymphocytes via neuronal-type nicotinic receptors dependently on extracellular calcium ion. 10th Neuronal nicotinic receptor Symposium, New Orleans, Louisiana, USA, p129 (P-3.3), 2000

Kikuchi Y, Iizasa H, Tetsuka K, Asashima T, Hattori K, Hosoya K, Terasaki T, Nakashima E. In vitro blood-brain barrier model: Co-culture system of conditionally immortalized rat cell lines, TR-BBB, TR-AST and TR-PCT. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 43, 2000

Muta M, Shinsei M, Hattori K, Iizasa H, Toi M, Terasaki T, Obinata M, Nakashima E. Establishment of conditionally immortalized endothelial cell lines(TR-BME) derived from rat bone marrow. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 61, 2000

Asashima T, Iizasa H, Hattori K, Terasaki T, Ueda M, Obinata M, Nakashima E. Establishing a conditionally immortalized cell line from rat brain pericytes. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 64, 2000

Shinsei M, Hattori K, Iizasa H, Hayashi M, Hosoya K, Terasaki T, Nakashima E. A conditionally immortalized endothelial cell line (TM-BBB4) proliferated in response to VEGF. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 65, 2000

Genda N, Iizasa H, Kitano T, Hattori K, Yoneyama H, Nishihara K, Nakashima E. Multiple drug resistance gene, *mdr1a* expression in mouse ulcerative colitis model. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 65, 2000

Iizasa H, Asashima T, Tetsuka K, Hattori K, Terasaki T, Nakashima E. Establishing a new isolation method for brain capillary pericytes. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences, San Francisco, USA 67, 2000

Hattori K, Hayashi K, Iizasa H, Matsushita R, Ichimura F, Nakashima E. Synergistic effect of Indomethacin and Bleomycin on tumor growth produced by activation anti-tumor immunity. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 134, 2000

Matsunaga N, Hattori K, Nishijima T, Iizasa H, Fukuhara M, Nakashima E. Analysis of Theophylline clearance using the PKCYP-TEST in control and 3-Methylcholanthrene-treated rats. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 165, 2000

Nishijima T, Matsunaga N, Hattori K, Iizasa H, Fukuhara M, Morikawa A, Nakashima E. Application of the PKCYP-TEST to predict the amount of in vivo CYP2C11 using Tolbutamide as a probe. Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences San Francisco, USA 168, 2000

Yoshiyama Y, Yazaki T, Kanke M. Protective effect of fosfomycin on the nephrotoxicity of teicoplanin. World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics. Florence, Italy. 257, 2000

Yoshiyama Y, Sugiyama T, Kanke M, Tsuchimoto K. Drug interactions of antiarrhythmic drugs in chick embryos. 17th Annual Meeting of International Society for Heart Research Osaka, Japan. 112, 2000

Sugiyama T, Yoshiyama Y, Baba A, Tsuchimoto K. The pro-arrhythmic actions by anti-arrhythmic drugs using chick embryonic electrocardiograms. 17th Annual Meeting of International Society for Heart Research Osaka, Japan. 113, 2000